

一般（代表）質問通告一覧表

令和8年第2回笠岡市議会定例会

3月4日(1日間)

| 通告者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁者 |
|----------------|-----------------------------|---|--------------|
| 1 公明党 齋藤 一信 | 1 令和8年度当初予算の編成方針と財政運営について | <p>(1) 財政健全化計画が開始された初年度を振り返り、市は市民生活への影響をどのように整理しているかお尋ねします。</p> <p>(2) 物価・人件費の高騰が続く中、事業費の上振れリスクへの備えについてお尋ねします。</p> <p>(3) 財政健全化計画の進捗や達成状況について、外部有識者による点検、市民向けの分かりやすい公表、未達時の是正措置の明確化といった検証と説明責任の制度化を図るべきと考えますが、市の見解をお尋ねします。</p> | 市長 " " |
| | 2 子育て・教育の「負担軽減」と「学びの環境」について | <p>(1) 令和8年度の子育て支援(医療費、放課後児童クラブ負担軽減等)は、市民の可処分所得を直接押し上げる重要な施策だと捉えています。対象拡大の狙い、利用見込み、財源の持続性についてお尋ねします。</p> <p>(2) 学校体育館(屋内運動場)空調整備について、整備対象校、年次計画、避難所機能強化としての位置付け、維持管理費(電気代等)を含む総事業費の考え方をお尋ねします。</p> <p>(3) 令和7年度は給食の食材費高騰分を1食20円補助(小中)としている。令和8年度は中学校で1食60円補助を継続し、小学校給食費の無償化も示されている。これらの設計意図(なぜ小学校は無償化で、中学校は食材費補助なのか)と、保護者負担の“実質軽減額”をどの程度見込むのか、また今後の</p> | 市長 " " |

| | | | |
|------------------|----------------------|---|--|
| | | <p>拡充方針(対象拡大・恒久化・財源設計)をお尋ねします。</p> <p>(4) 茨城県境町の英語教育は有名です。同町は「すべての子供が英語を話せる町へ」の方針を掲げ、2018年から「スーパー・グローバル・スクール事業」を実行し、若い子育て世代に選ばれる町の1つとなっています。本市の積極的な教育投資、英語教育でのまちづくりの可能性についてお考えをお尋ねします。</p> | 市長及び教育長 |
| 2 創政みらい 山下 恭司 | 1 新庁舎建設と行政サービス向上について | <p>(1) 新庁舎建設に向けた市長のビジョンとそこに込めた強い思いをお聞かせください。</p> <p>(2) 新庁舎の建設に当たっては、来庁者の目的を大別し、最適化を図るべきと考えます。特に、ワンストップサービスの構築やデジタル化の推進等、運営面についての考えをお尋ねします。</p> <p>(3) 新庁舎建設の検討では7年の期間が必要とのことでしたが、今後計画をさらに前倒して事業を加速させるロードマップとすることができるか、見解をお尋ねします。</p> <p>(4) 建設工事費の財源について、交付税措置のある財源は見当たらないとのことですが、緊急防災・減災事業債は使えないかお尋ねします。</p> <p>(5) 全国市議会議長会の要望提言を見ると全国的に庁舎や公営施設が老朽化しており、国に耐震化や建て替えの財政措置を求めています。市として国に耐震化や建て替えへの財政措置を求める働きかけの現状と今後の戦略はどのようになっているか、お尋ねします。</p> <p>(6) 新庁舎建設後の取り壊しについて、昭和</p> | <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> |

| | | | |
|-----------------------|----------------------------|---|---|
| | <p>2 財政健全化について</p> | <p>31年頃の建材としてアスベストが使用されていた可能性が考えられますが、現庁舎のアスベストの有無についてお尋ねします。</p> <p>(1) 財政健全化について、令和7年10月に財政健全化プランの進捗状況報告があり、令和7年12月議会で市長は財政健全化に明るさが見えてきたと発言されましたが、何を持って明るさが見えたと考えますか、見解をお尋ねします。</p> <p>(2) 中期財政見通しと生活実感との乖離について、中期財政見通しでは物価高騰の影響を1.05%に人事院勧告による伸びを1.95%に見込んでいますが、市民の生活実感とこのシミュレーションがかけ離れていると感じますが、見解をお尋ねします。</p> <p>(3) 不測の事態に備える財政調整基金の適正規模について、財政調整基金については20億円を目標としていますが、財政調整基金の適正規模はいくらと考えているか、お尋ねします。</p> | <p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> |
| <p>3 讃志会 山本 聡</p> | <p>1 財政健全化プランの進捗状況について</p> | <p>財政健全化プランの実施から1年が経過し、集中取組期間(3年)とした初年度の成果を以下尋ねる。</p> <p>(1) 予算の削減、または廃止に至った事業費の総額について</p> <p>(2) 予算措置したが実施されなかった事業について</p> <p>(3) 金利上昇、物価高騰などによる今後の歳出の見込みについて</p> <p>(4) 公共施設長寿命化等に係る不測の支出はあったか。</p> <p>(5) 当初の収支見通しと現時点における財政健全化プランの残り期間における収支見通しにそごはないか。</p> | <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> |

| | | | |
|--------------------------------|---|---|---|
| | <p>2 令和8年度 当初予算につ いて</p> | <p>令和8年度当初予算において、新しいまちづくりを着実に前進させ、総合計画にある3つの基本理念と横断的プロジェクトの推進を柱に、各種施策をはかりながらカブトガニをまちづくりのシンボルとして位置づけ、自然環境の保護と地域価値の向上を目指し、「暮らしを支える」では積極的な企業誘致と戦略的に観光振興をおしすすめる、としていることを踏まえ、以下尋ねる。</p> <p>(1) 利便性の高い立地を生かした住環境の確保、及び地域価値向上に向けたそれぞれの取組について</p> <p>(2) 将来的に自主財源(市税収入)の増加に直結する、具体的な企業誘致の案件、進捗状況について</p> <p>(3) 戦略的観光振興による地域経済への波及効果について</p> <p>(4) 歳入等について、企業倒産などで当初の見込額との乖離が生じた場合の対応について</p> <p>(5) 経常収支比率の推移について</p> | <p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> |
| <p>4 みんなの笠 岡 真鍋 陽子</p> | <p>1 期日前投票 における二重 交付ミスにつ いて</p> | <p>(1) 第51回衆議院議員総選挙・最高裁判官国民審査期日前投票所において有権者1人に小選挙区と比例代表の投票用紙をそれぞれ二度交付するミスがありました。発生時における受付の体制、投票済み確認の具体的な手順、どの段階で問題が発生したのかを尋ねます。</p> <p>(2) ミスが発生した後、どのように原因を分析し、改善を行ったのかを尋ねます。</p> <p>(3) 今回の衆院選においては、全国的に国民審査のみの投票用紙を交付すべき再来場者に対して、衆院選の用紙を再交付している事案が多発しています。本市においては、</p> | <p>選挙管理 委員会委 員長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> |

| | | | |
|--|---------------------------------|---|--|
| | <p>3 カブトガニをシンボルとしたまちづくりについて</p> | <p>(1) カブトガニを「環境指標(バロメーター)」とする具体的な評価項目は何かを尋ねます。</p> <p>(2) 数値目標と達成年次を設定する考えはあるかを尋ねます。</p> <p>(3) カブトガニ保全区域の流域において、低農薬・減農薬・無農薬農業への転換を重点的に支援する考えはあるかを尋ねます。</p> <p>(4) ネオニコチノイド系農薬など、水生生物への影響が指摘される農薬の使用実態を把握しているかを尋ねます。</p> <p>(5) 森林管理において、農薬散布を見直す考えはあるかを尋ねます。</p> <p>(6) 公共事業において「生物多様性ネットゲイン」の考え方を導入する考えはあるかを尋ねます。</p> <p>(7) 開館から36年を迎えるカブトガニ博物館をリニューアルすることが地域の観光振興につながる可能性について、どのようにお考えかを尋ねます。</p> <p>(8) 老朽化対策として、段階的な改修や全面リニューアルは検討されているかを尋ねます。</p> | <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> |
| | <p>4 防災について</p> | <p>(1) 本市では、震度別や建物の耐震性の状況等を踏まえ、発災直後の職員の具体的行動(屋内待機・屋外退避・再入庁の判断基準等)まで示した細やかな初動対応マニュアルは整備されているのか、また、そのような判断基準や行動手順は、職員にどのように周知・訓練されているかを尋ねます。</p> <p>(2) 子供たちが自ら安全な場所へ避難できるようにするための防災教育は、学校においてどのように実施されているかを尋ねます。</p> | <p>関係部長</p> <p>教育長</p> |